



【ご案内】 冊子「デジタル教科書を問い直す」を発行



当機構はデジタル教科書の本格導入に向けた国の方針に重大な関心を持ち、作家、学者、新聞・出版関係者、学校図書館関係者など有識者のみなさま、超党派の国会議員の方々と共に2020年に「活字の学びを考える懇談会」を設立し、政策提言を行ってまいりました。

2030年度からデジタル教科書を正式な教科書とする方針が示されるなど、近年急速に導入が進むデジタル教科書について、その教育的影響や学習環境に与える様々な作用を改めて考える必要があるのではないかとの問題意識から、冊子「デジタル教科書を問い直す～危がまれる子どもたちの思考力～」を作成いたしました。

子どもたちの豊かな思考力を育むためにどのような教育教材、教育方法が最適なのか、紙の教科書との比較、学力・読解力への影響、健康面・アクセシビリティの観点など、多角的な視点で、委員の皆様からの様々なメッセージをまとめております。

是非ともご覧いただき、今後の学校教育をご検討いただく際の一助としていただければ幸いです。

ウェブサイトで冊子のPDFを公開しています。 <https://www.mojikatsuji.or.jp/news/2026/03/30/10733/>



【受付中】読書バリアフリー体験セット・点字学習器の無料貸出



点字付きさわる絵本や大きな文字の本、わかりやすいLLブック、マルチメディアDAISY図書など、主なバリアフリー図書をセットにした「読書バリアフリー体験セット」と、点字を楽しく学べる凸面点字器「トツテンくん」の無料貸し出しを、2026年度もスタートしました。

読書バリアフリーセットは開始当初の20点から様々なコンテンツを追加し、現在では約30点もの資料を一挙に体験いただけるようになりました。この春から、「点字毎日新聞」の活字版・点字版が新たに仲間入り。さらに、多言語対応版のPOPなども制作予定です。

さらにパワーアップしていく本セットを、是非ご利用ください！

点字学習器「トツテンくん」は、体験セットの中でも大好評のアイテムです。授業や研修でお使いいただけるよう、「トツテンくん」のみ1個から最大330個までお貸ししています（要調整）。ワークショップ動画もYouTubeで公開中です。あわせてご覧ください。

【対象】全国の公共図書館、学校図書館、大学等

【貸出費】無料（各種送料も無料です）



◀「読書バリアフリー体験セット」
詳細はこちらから
<https://bit.ly/4tkPN1S>



◀凸面点字器「トツテンくん」
詳細はこちらから
<https://bit.ly/3Z0XI70>



▲誰でも簡単に使える、点字版と点筆がセットになったトツテンくん。活用WS動画を公開中！

なお、4月23日には国立オリンピック記念青少年総合センター（渋谷区）で開催された「子どもの読書活動推進フォーラム」で、読書バリアフリー体験セットを中心として当機構の取り組みを紹介させていただきました。また、5月12日セシオン杉並（杉並区）で開催の「学校・公共図書館の清書を応援する児童図書・優良図書展示会」でも、ご紹介の機会をいただいています。今後、本セットについて広く知っていただける場がございましたら、是非当機構事務局までお知らせください。

【ご案内】「バリアフリー図書の森へようこそ！」音声版が完成



バリアフリー図書にはどんなものがあるのか、それぞれの図書に凝らされた読みやすさの工夫について、分かりやすくまとめた解説冊子「バリアフリー図書の森へようこそ！」が、音声読み上げでもお楽しみいただけるようになりました！お手持ちのスマートフォンやPCで開くと、音声と文字がシンクロし、読み上げ箇所がハイライト表示される画面が立ち上がります。読み上げる声の種類や速度も選べる「音声版」を、右記のウェブページから是非お試しください。

通常版の冊子も、10部まで無料でご提供しています。お気軽にご請求ください。

冊子「バリアフリー図書の森へようこそ！」音声版や資料請求の詳細はこちらから ▶
<https://www.mojikatsuji.or.jp/news/2026/03/31/9635/>



「バリアフリー図書の森へようこそ！」
(A5サイズ/20ページ)

【開催報告・募集開始】読書バリアフリーサポーター養成講座



読書バリアフリーに関する学びを深める「読書バリアフリーサポーター養成講座」第3期の最終講座を、1月17日に大阪市立中央図書館で開催しました。

当日は講座監修者の成松一郎さん（有限会社読書工房）、野口武悟さん（青山学院大学教授）のほか、学習障害・発達障害当事者の出口優人さん、大阪教育大学准教授で視覚障害、聴覚障害当事者の奈良里紗さん、日本図書館協会多文化サービス委員会の阿部治子さんが登壇し、読書困難の実態や読書支援について講義を行いました。全講座を受講し所定の課題を提出した55名の修了生が、今後、それぞれの地域で読書バリアフリー普及の核となって活躍していくことを期待しています。

2026年度も本講座を開講します。現在、4期受講生を募集中です！
《申込締切：5月27日（木）》 詳細はウェブページでご確認ください。



《第4期「読書バリアフリーサポーター養成講座」》

【スケジュール・内容】6月～8月 オンデマンド講義（動画視聴・講座テキストを読んだレポート提出を3回）
9月5日（土）1日間の現地開催の講義（都内会場で調整中）

【受講料】無料

※5期は大阪会場で実施予定です。詳細が決まり次第、ウェブページでご案内いたします。

「読書バリアフリーサポーター養成講座」詳細はこちら ▶
<https://www.mojikatsuji.or.jp/db/2026/05/08/10960/>



【開催予定】6/4 フォーラム

「学校図書館図書整備等5か年計画の継続・発展に向けて」



現在、デジタル機器の普及に伴い、学校教育は大きな転換期に置かれています。政府は子どもの学習・読書・情報等の学びの拠点である学校図書館の整備施策を推進していますが、依然として現場での課題は山積しています。

2027年度から始まる第7次「学校図書館図書整備等5か年計画」の策定に際し、当機構は図書の廃棄・更新と新規購入の促進、バリアフリー図書の整備・拡充、新聞の複数配備、学校司書の待遇改善と1校専任の実現を求め、関係団体の皆様と立法府、行政府に働きかけてまいります。本フォーラムでは「学校図書館の充実で教育は変わる」をテーマに掲げ、4名の登壇者が講演を行います。ぜひご参加ください。

詳細・申込はこちら ▶

<https://www.mojikatsuji.or.jp/news/2026/04/27/10936/>



日時：2026年6月4日（木）10：00～12：00

会場：城西国際大学紀尾井町キャンパス1号棟地下ホール（東京都千代田区紀尾井町3-26）

参加：無料（先着160名）ご関心のある方はどなたでもご参加いただけます

テーマ：「学校図書館の充実で教育は変わる」

講師：山口 寿一氏（公益財団法人 文字・活字文化推進機構理事長、読売新聞グループ本社代表取締役社長）

宇野 和博氏（筑波大学附属視覚特別支援学校教諭）

横山由美恵氏（岡山市立西小学校学校司書）

桐畑美登利氏（大正大学非常勤講師、横浜市教育委員会元指導主事）

【開催報告】子どもの読書応援フェスタ！ inくまもと



3月14日に熊本城ホール シビックホール（熊本市）にて、子どもの読書応援フェスタinくまもとを開催しました。午前中の、大人を対象とした「読書活動推進セミナー ～朗読と絵本と子どもたちへのまなざし～」では、アナウンサー・朗読指導者養成講座講師の山根基世さんによる『黄金風景』（作・太宰治）の朗読、同講座修了生でアナウンサーの福島絵美さんによる山根さんとの対談を行いました。続いて画家・絵本作家のいせひでこさんの講演、NHK交響楽団の後藤康さんと小畠幸法さんによる特別演奏も披露。約130名の聴講者が、子どもの読書や絵本作品の世界について考えを深めつつ、生演奏を楽しむひと時となりました。



午後の「家族で楽しむ読み聞かせコンサート」では、福島絵美さんが、『ピアノ』（作・いせひでこ 偕成社）と『弾きがえる』（作・久留島武彦 絵・市居みか 子どもの未来社）を朗読。物語に合わせて後藤康さんがヴァイオリンでのカエルの鳴き声を表現したり、小畠幸法さんは作品に登場する音楽をチェロで演奏するなど、物語と音楽が一体となった特別な時間を演出しました。会場には小学生または中学生を含む家族、約500名の申込者から抽選で選出した約300名が来場し、音楽と物語の世界に浸りました。

【開催報告】2/8 朗読指導者養成講座修了生による連続朗読会



2015年より開講した山根基世の朗読指導者養成講座の修了生は、1期から9期まで全国に約350名となり、朗読を通して地域の人々をつなぎ、子どもの言葉を育てる読書活動を推進しています。

さらなる朗読の輪を広げることを目的に、2月8日、講座修了生による連続朗読会を御茶ノ水ソラシティカンファレンスセンター（千代田区）で開催しました。個人またはペアで11組の登壇者が、芥川龍之介の『ピアノ』や中島敦の『弟子』、夏目漱石の『声』など自身が朗読したい作品を自由に選び、作品の魅力を声に乗せて披露しました。当日は悪天候にもかかわらず、約70名が参加し、朗読会の後の交流会も含め、大盛会のイベントとなりました。



▲受講生による朗読のようす

【開催報告】2025年度「やまねこ朗読発表会」開催と10期開始



◆ 9期生による「やまねこ朗読発表会」

3月7日、「朗読指導者養成講座」第9期生による「やまねこ朗読発表会」を国立オリンピック記念青少年総合センター（渋谷区）、小ホールで開催。受講生29名が、1年間の学びを通して磨いてきた朗読を、それぞれが選んだ作品に込めて披露しました。

◆ 第10期「朗読指導者養成講座」がスタート

朗読によって地域の人々をつなぎ、子どもたちの言葉を育てるという目的を掲げ、2015年からスタートした本講座は、この4月からいよいよ10期目を迎えます。第10期も、全国各地から集まった受講生30名が1年間の受講を通して朗読の基礎を学び合っていきます。



▲山根講師から修了証を受け取る9期生

【開催報告】4/16-19開催 全ニッポン古本博覧会への出展



▲読書バリアフリー体験セットの展示



▲朗読指導者養成講座修了生の朗読

4月16日～19日に東京・神保町で開催された全ニッポン古本博覧会へ、当機構が出展しました。

小川広場テントにて「読書バリアフリー体験セット」、凸面点字器「トツテンくん」の体験・展示会を行ったほか、開催期間中の土日限定で、「山根基世の朗読指導者養成講座」の修了生による1日3ステージの朗読会を実施し、多くの方にお立ち寄りいただきました。

◆維持会員（企業）

ADKマーケティング・ソリューションズ
朝日広告社
潮出版社
NHK出版
王子製紙
大塚商会
KADOKAWA
キャノン
くもん出版
講談社
サカタインクス
集英社
小学館

新潮社
聖教新聞社
大王製紙
大広
第三文明社
大日本印刷
ダイヤモンド社
DIC
中央公論新社
中越パルプ工業
電通グループ
東京機械製作所
TOPPAN
ホールディングス

ナガセ
日本製紙
日本BS放送
日本郵便
日本図書普及
博報堂
富士通
文藝春秋
新興出版社啓林館
文研出版
ポケモン
ポプラ社
マガジンハウス
三井住友銀行

三菱重工機械システム
光村印刷
森ビル
読売広告社
読売新聞東京本社

◆維持会員（学校・財団・社団法人、他）

岩佐教育文化財団
教科書協会
出版文化産業振興財団
読書推進運動協議会
日本医師会
日本印刷産業連合会
日本雑誌協会

日本児童図書出版協会
日本書籍出版協会
日本新聞協会
日本製紙連合会
日本専門新聞協会
日本薬剤師会

◆維持会員（個人） ※氏名の公開に同意いただいている方のみ

飯田 公子
井坂 望
石田 瑞恵
宇佐見 英治

大塚 法子
大平 恵理
河村 邦比児
小林 美智子

坂本 貴子
正司 顕好
菅 友美
杉山 隆子

添川 江利子
田代 和生
西尾 賢司
萩谷 邦昭

林 明夫
山川 洋一郎

【ご案内】維持会員募集

当機構では、活字文化やメセナ、社会貢献にご理解のある維持会員を随時募集しております。

◆年会費

個人：原則として1口1万円以上
法人・団体：原則として1口30万円以上（何口でも結構です）

◆入会特典

・講演会・各種イベントのご案内/各種優待等
・会報・情報誌のご送付 その他



◀維持会員の詳細はこちら
<https://bit.ly/3uu9qJ0>



◀個人維持会員のお申込フォームはこちら
<https://bit.ly/3GjU9n4>

